



井田 孝 議員



天神公園の西側道路整備を

問 旧市役所跡地を公園（天神公園）に整備するというこ

とだが、計画の詳細を伺う。

答 詳細な計画は未定だが、都市計画決定時の概要は、舗装・張り芝、植栽、ベンチ、トイレ、駐車場、マンホールトイレの設置などを予定。

問 旧市役所西側の道路は、踏切が閉まると自転車通学の生徒が横に並んで待っており、踏切が開いた後は、車は自転車避けするように通行して危険な状況となる。西側の道路沿いに、自転車や歩行者が安全に通れる歩道のよう

なものを計画に入れられないか。

答 西側道路境界よりセツトバックして確保したスペースを含めた土地の有効な活用方法について、生徒の通学時の混雑を解消し、安全な通行ができるよう適切な整備計画を検討する。

問 道を挟んで反対側は、天神様敷地の木々が生い茂り、

道路も緩やかなカーブとなっているため見通しが悪く、日が暮れると一層危険になる。通路をつくることと併せて、街路灯を計画に入れることはできないか。

答 通行スペースの確保と併せ、施設計画をする中で適切な設置検討を進める。

市民懇談会の開催を

問 合併当時、市長と市民との懇談会が行われていたが、米本市長は市民の意見を聞く懇談会を開く予定はあるか。

答 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今は開催を見合わせているが、日常生活が回復したら、積極的に対話集会を実施したいと考えている。

問 学校の再編に不安を抱く地域の方や、コロナ禍により生活に不安を持っている市民の声を耳にする。そんな中、市長が市民の意見を聞く懇談会を開くことは大変重要であると考えるので、ぜひ前向きに検討してもらいたく、米本市長の意見を伺う。

答 これまでと同様の地域意見を対象とした座談会や、来年度から開催予定の二十歳の集い実行委員との座談会などを実施したい。

農作物残渣の処理について

問 キュウリやトマトを収穫した後に残る茎やつるなどの残渣は、野焼きや埋設の制限により、処分に多大な労力がかかっているが、本市の考えを伺う。

答 残渣の処理については、堆肥化して農地に戻す方法や、裁断した残渣に添加剤を加え、病害虫を死滅させてすき込む方法などが開発されている。市では関係機関と連携して有効な利用方法の情報収集に努め、省力化による適正処理を推進していく。

畜産ふん尿の処理について

問 家畜のふん尿処理については、畜産農家が大変努力して取り組んでいる問題だが、どのような取り組みがされているのか。

答 畜産のふん尿は法律により適正管理と利用の促進が定められており、畜産農家は国や県の補助事業を利用して設備や機械を導入しながら、家畜ふん尿の適

正管理と有効活用を進めている。

問 ふん尿の再利用について、具体的な支援策は。

答 新しい取り組みとして、市内養豚農家では、豚のふんを臭いの少ないペレット状に加工し、耕種農家が農地に散布しやすく、保管・運搬が容易な堆肥づくりを目的とした施設整備を行っている。今後も国・県等の事業情報を把握し、推進を図っていく。

バイオマス産業都市について

問 バイオマス産業都市は、野菜の残渣や畜産のふん尿、食品残渣といった生物資源を活用した国の事業であり、地域の資源を活かし、環境にやさしく、災害に強い持続可能なまちづくりが目的である。

答 全国でも有数の農業が盛んな本市において、バイオマス発電、堆肥化による資源の再利用、地域内循環などが今後の大切な課題だから、検討する予定はあるか。

答 本事業については、平成25年から公募が始まり、現在国の認定を受けているのが全国で97市町村、関東では5市町村。千葉県内での取り組みはなく、本市においても検討の予定はない。